



## 「大学生のメンタルヘルス ～『生きづらさを抱える若者への支援』～」

警察庁統計による令和4年全国の学生・生徒等の自殺者のうち、大学生は543人と前年から109人増加し、大阪府は全国と比較し、大学生の割合が高い状況です。

本研修では講師から大学、診療場面で気づく若者のおかれている現状についてお聞きし、大学生を含む若者のこころの不調や、コロナ5類移行後の若者のメンタルヘルスの課題を理解し、生きづらさを抱える若者への支援の在り方について、地域保健と教育機関の連携を考えます。

**日 時** 令和5年9月6日（水）13時30分から17時00分まで

**場 所** ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）5階 特別会議室  
（大阪府中央区大手前1丁目3-49）  
<https://www.dawncenter.jp/>

**対 象** （1）府内にある大学の学生支援センター、保健管理センターなどの相談窓口の担当者  
（2）府内保健所の精神保健福祉業務担当職員、市町村自殺対策担当課職員 [定員40名]

**内 容** （1）講義「大学生のメンタルヘルス～『生きづらさを抱える若者への支援』～」  
兵庫教育大学客員教授、大阪人間科学大学特任教授  
東布施野田クリニック 院長 野田 哲朗 氏  
（2）大阪府の自殺対策事業の概要と「大阪府こころのほっとライン」について  
大阪府保健医療室 地域保健課 主査 三場 知香 氏  
（3）「大阪府版ゲートキーパー養成研修」と「こころの健康について考えよう！（SOSの出し方教育）」について  
大阪府こころの健康総合センター 事業推進課  
（4）地域の実践報告「大阪府茨木保健所における大学と連携した取り組み」  
大阪府茨木保健所地域保健課 精神保健福祉チーム 技師 島山 玲 氏  
（5）グループワーク  
（6）まとめ

**その他** 申込み締切り後に受講決定通知を送付します。

〔申込み方法〕 申込みフォームから直接お申込みください。

- ①氏名（ふりがな） ②職種 ③従事年数 ④所属機関名（例：大阪府こころの健康総合センター、〇〇大学、〇〇短期大学など） ⑤所属課名（例：事業推進課、学生支援課、健康管理センターなど） ⑥電話番号 ⑦メールアドレス ⑧受講動機 ⑨大学生を含む若者の支援で課題と感じていること ⑩講師への質問があればお書きください。

〔申込み先〕 こころのオアシス <http://kokoro-osaka.jp/>（研修→[自殺対策研修](#) →「J-4」）  
申込みフォーム <https://lgpos.task-asp.net/cu/270008/ea/residents/procedures/apply/f2867283-4f07-4af5-83b8-83203f4563e4/start>

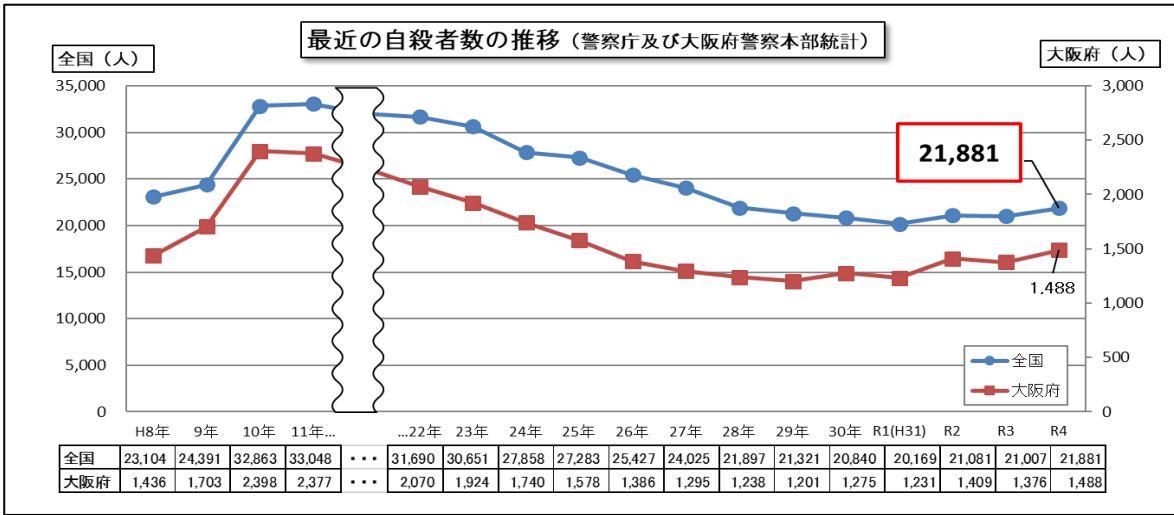
〔申込み締切り〕 令和5年8月23日（水）17時まで

\*1 機関より複数参加申し込みのあった場合は人数調整をする場合があります。

〔問合せ先〕 大阪府こころの健康総合センター 事業推進課 担当：南・伊藤  
電 話 06-6691-2810（課直通） F A X 06-6691-2814

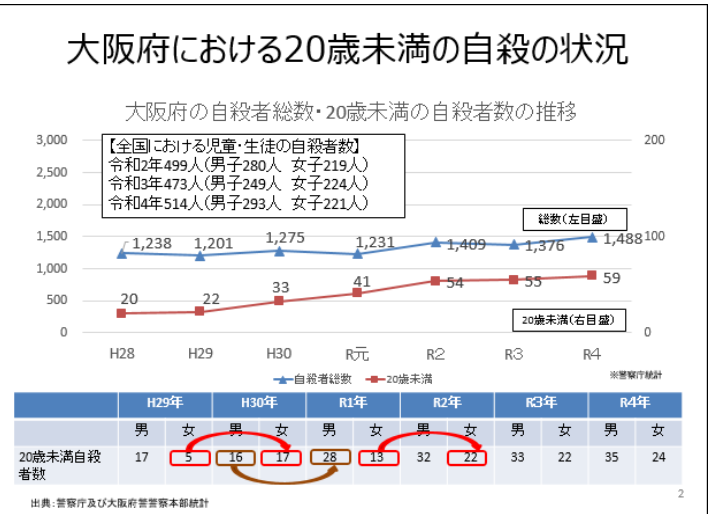
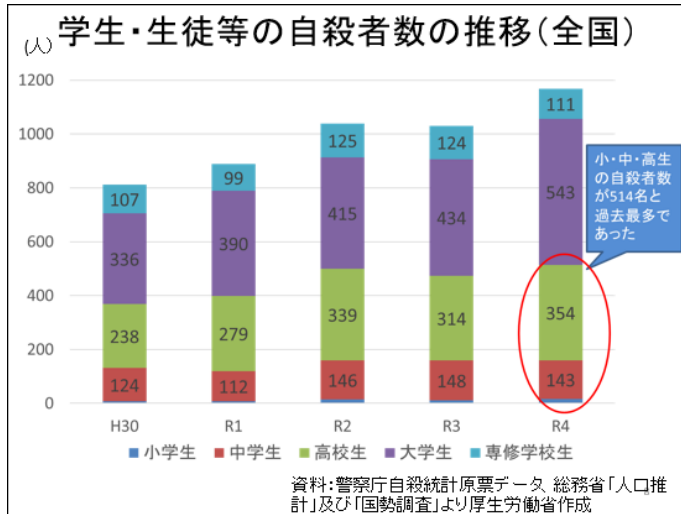


# 1. 大阪府の自殺の現状



令和4年の自殺者数は、全国、大阪府ともに増加し、全国では前年より874人増の21,881人となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の拡大といった要素があり、自殺者数が11年ぶりに増加した令和2年より多い状況です。大阪府では、1年間に1,488人、1日当たりでは4人以上の方が亡くなられており、依然としてたくさんの方の命が失われる深刻な状況が続いています。

# 2. 若者の自殺の現状



全国の学生・生徒の自殺者数のうち、小・中・高校生の自殺者数は増加傾向にあり、令和4年は514人で過去最多という状況でした。また、大阪府の20歳未満の自殺者数も、男女ともに増加傾向で、令和4年は過去最多の59人で、若年層への自殺対策が急務です。

若者の自殺は遺族や社会への影響が非常に大きいことから、関係機関が連携し、必要な取組みをきめ細かに実施する必要があります。



大阪府こころの健康総合センター 事業推進課  
 TEL:06-6691-2810 FAX:06-6691-2814  
 e-mail: [kenkosogo-g22@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:kenkosogo-g22@sbox.pref.osaka.lg.jp) HP: [こころのオアシス](http://こころのオアシス)